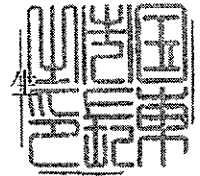


国建第 1017002 号

平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省 道路局長 様

大分県国東市長 野 田 侃



今後の道路行政についての意見・提案について

貴職におかれましては、日ごろより道路行政に対してご尽力くださり厚くお礼申し上げます。

さて、平成 20 年 9 月 19 日発、国道企第 37 号で依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

大分県 国東市

今日の国・県・市町村の財政状況から、道路関係予算に限らず全てにかかる支出の見直しや、効果を検証することは当然のことと考えます。しかし、費用対効果のみを重視すると、都市部や都市近郊の市町村に偏った投資となるのではと危惧いたしております。

当市は大分県北東部の国東半島の東側に位置し、人口34千人で臨海部には大分空港が立地し先端産業の集積地となっています。しかし、市全体としては第一次産業が中心産業となっております。例に漏れず過疎化と少子高齢化が進行し、平成29年には現在より4千人減少し、高齢化率については現在34.8パーセントが52.6パーセントになると試算されております。

過疎化は山間部や中山間部が特に顕著で、限界集落が現実の問題となってきております。その要因については、少子化と第一次産業の行き詰まり、さらに道路をはじめとするインフラ整備の遅れ等が大きく影響していると考えられます。また、これらの影響で地域の若者が流出することにより、生活道路にかかる受益人数の減少で費用対効果の面から道路に十分な予算を投入出来ないという悪循環が繰り返され、都市部への人口集中と地方部の過疎化を一層助長していると思われます。

道路交通網の整備が地方部の衰退にストップをかけ、道路が地域の発展を誘導するという側面を考慮し、道路財源の確保と地方に配慮した予算配分を切に願うものであります。

また、困窮する地方財政の面からも、今後の橋梁等道路構造物の長寿命化や維持管理費用の増加は避けられず、補助要件の緩和や交付金の算定基礎の拡大を願うものであります

②ー１ 地域の現状と抱える課題

大分県 国東市

○ 現状

【人口問題】

過疎化・少子高齢化の進行により、これまで地域住民によるボランティアで草刈等を行ってくれていた市道の中で、「人手不足の影響で今後は地域では草刈が出来ない」という地域が増加の傾向にある。

【市道】

市内には1,292路線1,008kmの市道がある。山間・中山間部には未改良路線も多く、緊急車両の進入困難な道路や、災害時に迂回路が無く孤立する小集落も存在する。また、国東市は平成18年3月に4町の合併により誕生したため、旧町村間を結ぶ横断的な道路が不足している。

【県道】

両子山から放射状にのびた谷ごとに県道がはしっており、順次改良が進んでいる。しかし、両子山を取り巻く県道（通称：はちまき道路）の北側半分が未改良で、各谷の山間・中山間部に散在する六郷満山文化を伝える神社仏閣等へのアクセスが悪く観光資源を活かしきれていない。

【国道】

国道213号線が国東市の海岸に沿って走っている。特に空港から空港道路間及び市役所付近で通勤通学時間帯に車両の混雑が発生している。また、歩道の未整備区間が残されている。

【道路構造物】

市の管理する橋梁は543基あり、その大半が昭和30～40年代に架けられたものであり、老朽化が進んでいる。

○課題

地方部の道路は地域住民の協力がなければ管理面で多くの予算を必要とする。厳しい財政の中、道路の維持修繕費の増大と、草刈等管理費の増加にどう対応していくか。

市道の改良が急がれると同時に、舗装や側溝の維持工事の必要な箇所も非常に多く、多大な財政負担を強いられており、地域からの改良要望に応えきれていない状況にある。また、旧町村間を結ぶ横断的な道路も地域間交流に不可欠であるが、県道の項で記載の「はちまき道路」の計画が現実化することにより、より有効な道路計画となりうる。

山間部に位置する道路なので多額の事業費を要するが、当市の地形上不可欠な道路である。

定時制への対応及び歩行者の安全の確保が早急な課題となっている。

既設橋梁の多くが長寿命化工事を必要としているだけでなく、今後の調査で架け替えざるを得ないものが存在すると思われる。架設年度から推測すると工事が一時期に集中し、多くの財政負担を強いられることが懸念される。

②－２ 地域の目指すべき将来像

大分県 国東市

当市には、六郷満山文化、豊かな自然など、数多くの地域資源があります。こうした地域固有の魅力をいかし、やすらぎや豊かさを実感できる安全で安心なすみよいまちづくりを進めるとともに、ここに住む人たちが生き生きと暮らすことのできるまちを将来像とし、市の総合計画では「いにしえの宝を未来につなぐ しあわせ実感のくにさき」と銘打っております。

その基本目標の一つに安全で快適な定住・交流のまち「ふれあいあふれるくにさき」を設定しております。この基本目標達成のためには、道路交通網の整備をはじめとするインフラの整備は絶対に欠かすことの出来ないものと思っております。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

大分県 国東市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域間交流の促進 観光資源の発展	両子山を取り巻く山間部の道路 （通称：はちまき道路）	1、両子山からのびる各谷への移動が海岸部に一旦出なくとも短時間のうちに目的地に到達することが可能になる。 2、時間短縮により、山間部や中山間部に散在する神社仏閣等の観光資源への観光ルートが容易に計画できる。 3、当市北部からの市役所や市民病院（市南部に位置する市内唯一の公的病院）への所要時間短縮。	